

オーツカ君



山田 まなご

オーツカ!
皆 来たよ!

オーツカ!

十年前
はじめての合コン

みなそれぞれに
お化粧して
おしゃれして

このオーツカって人が
今回の幹事らしい。







はじめて見る
涼やかな目。



はじめ

まして



は



ああ



た
夕ヤマです...

そう...

となりに居てはいけない
直感でそう思った

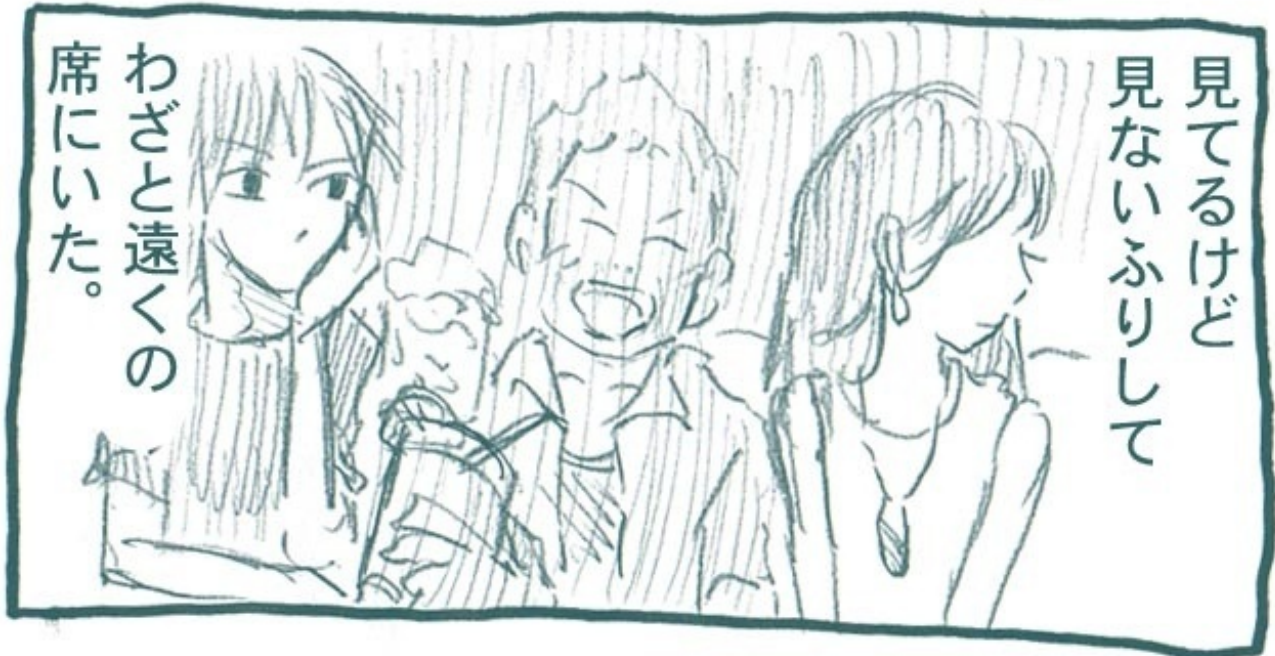


オーツカ君の視線が

ヤバイ。



見てるけど
見ないふりして



わざと遠くの
席にいた。

タヤマさんって

どんな音楽
聴いてんの？



えと

クラシック
とかジャズ

とか…

今度CD
貸してよ

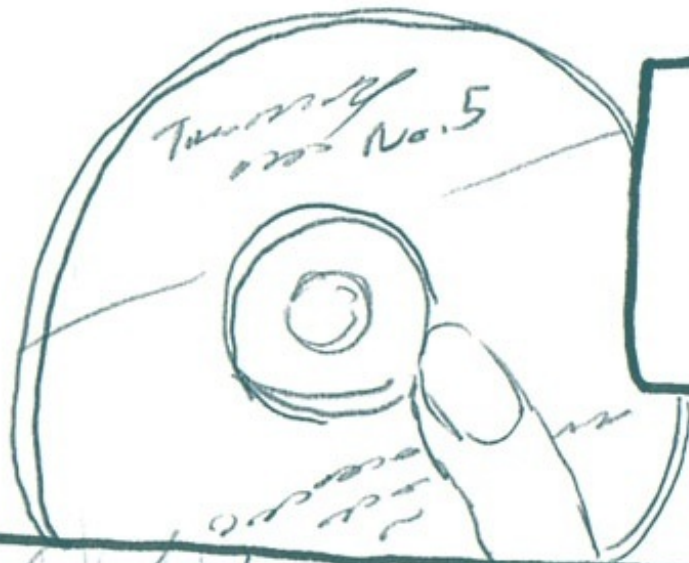


興味ある。

オレ



もしCDを
貸していたら



あの時



あの笑顔に
負けていたら

オーツカ君と別の人生を
歩んでいたと思う。



私はもっと
早くに
少女を捨てて

あのねマコ
オーツカの奴ね



マコの事が
好きになっ
た。って
言ってた。

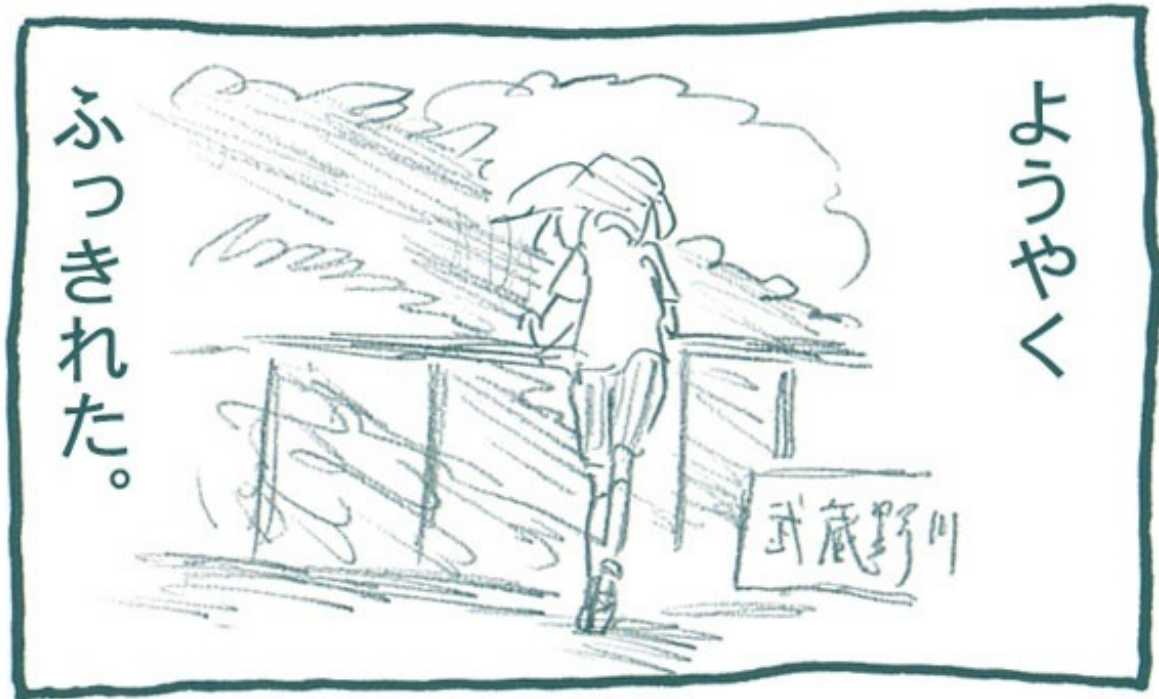
メアド：
教えとく？

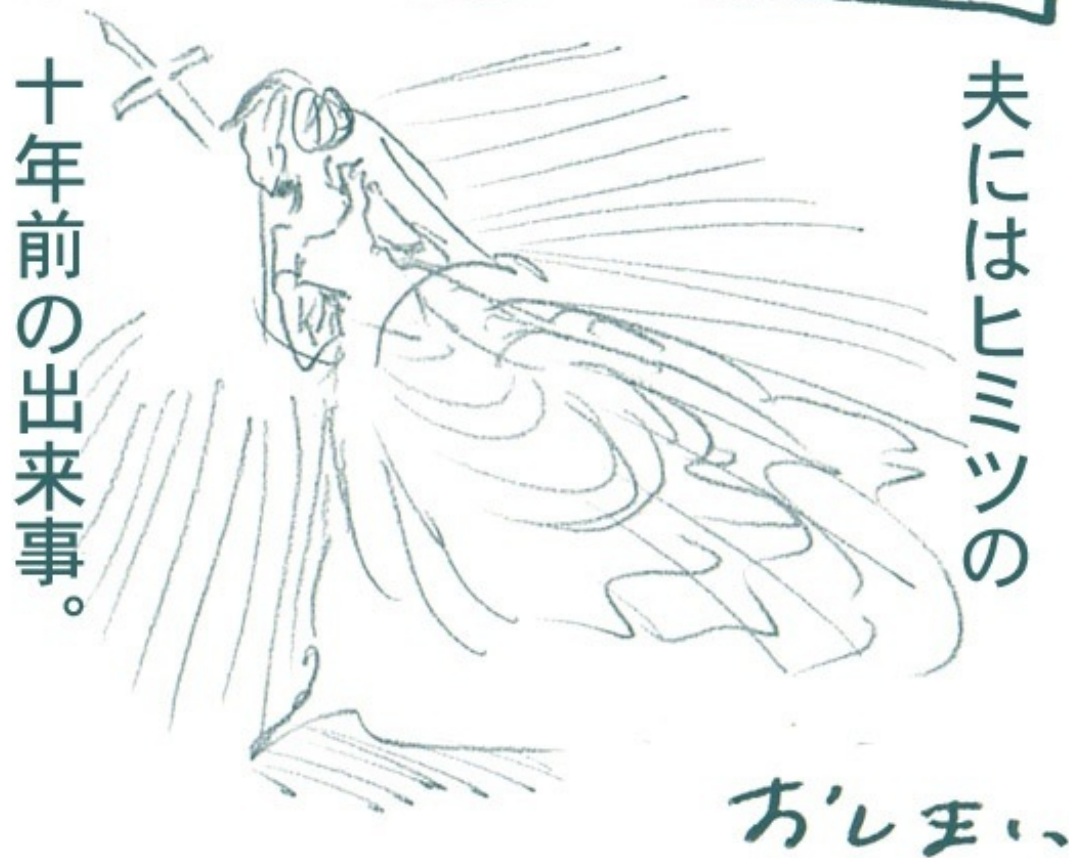


ううん。

い
い
っ
。







十年前の出来事。

夫にはヒミツの

方しまい